

令和6年度

はごろも保育園自己評価表

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

【記入方法】

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項 目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項 目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				・ 園内研修等で職員全体の共通理解を図り目標設定している。 ・ 開園間もないこともあり地域の特性を理解していない。 ・ 前年度の実績が無く、今年度からの反省点を生かしたい。 ・ 各々の年齢や月齢に応じた健やかな発達に努めている。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・ 一人ひとりの成長を踏まえ実態に即して計画しています。 ・ 保育指針の改定に伴い、更に援助・支援の充実を図りたい。 ・ 保育環境の整備は事前の計画の下で行えるように努めている。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。					
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい。		○			・ 今年度の振り返りで検討したい。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・ 各種行事を行うのは大変ではあるが、大きな経験をすることで子どもの成長を感じられる。 ・ 自己満足に終ることなく、常に保護者や子ども達の立場で考えて進めていけるようにしないといけない。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			・組織としての役割分担はされているが、連携や協働体制はこれからの課題です。 ・会議のための会議になっていないか検討する必要がある。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			・職員間の連携を密にして各々の立場での相互理解に務めなければならない。 ・若い職員も意見を出しやすい環境・雰囲気づくりが大事
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○			・クラスごとの保育目標に基づいて設定している。 ・月齢・年齢に応じた一人ひとりの発達過程に沿える内容の指導計画を設定している。 ・お誕生会や異年齢交流の場を設けて縦割保育を行っている。 ・日誌・月案・年間指導案等が計画に沿って行われているか、記録することで振り返りができるように努めている。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○		
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			・常勤の正看護師による日々の健康チェックや保健指導を行い感染症の予防に努めている ・消防計画に基づき、避難訓練・消火訓練を初め地震や対策・不審者対策を行っています。 ・児童表等による検診履歴を把握することで、検診を促しています。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○			
研究・研修	所内研究	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○			・職員アンケートにより研究主題を決めて保育目標の実現に向けて取り組んでいます。 ・園内研修や外部研修に参加することで、日々の保育に生かし反映させています。 ・各種研修会に参加し更に保育の奥深さを理解することができました。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○		
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	所外研究	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・様々な保育実践を知ることで大変参考になると同時に保育の質の向上に繋がっている
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○			

項 目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				・全職員に重要事項説明書について話、個人情報の適正管理に努めている。
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				・公文書等は事務・主任・園長による複数でのチェック体制を設けています。
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・シフトによる当番制を設けて施設内外の安全点検を計画的に行っている。
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				・室内外の遊具の衛生・安全管理に努めている。
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				・避難訓練計画の中に不審者対策を盛り込んでいる。
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				・税理士による会計チェック
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○		・シフトによる当番制を設けて施設内外の安全点検を計画的に行っている。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○			・室内外の遊具の衛生・安全管理に努めている。
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○			・避難訓練計画の中に不審者対策を盛り込んでいる。
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○	・今年度より就学児がいるので、小学校との連携に努めた。
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○		・幼稚園・小学校と密に連携が取れるようにしないといけない。
	家庭・地域連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	・保護者のみならず地域の方々にも日々の園での様子を見てもらえる機会を設けてもいいのでは？
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○		・遠方の祖父母の方々にも日々の様子がわかるようにHPやブログを通して情報発信に心掛けている。
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 づ く り	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				・日頃、親子で過ごしている方々が孤立しないように各種催しを行い参加してもらうことで情報交換の場として重要な役割を担っている。 ・外部講師を招いて子育て後援会を開いたりして学習の場を設けている。 ・子育て指導員・主任保育士等による「子育て相談」の場を設けています。
	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				・職員の当番制により毎週ブログの更新を行っています。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	・社会福祉法人改革に伴い地域の方々や保護者の方々の意見を施設運営に反映することが重要だと思っています。
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				
	外部評価					

(総 評)

女性の社会進出に伴い、子育てや保育の考え方が目まぐるしく変化していった中、保育園に対する社会ニーズも大きく変化してきています。

急速に進む少子化に歯止めを掛ける為にはどうしたらいいか、社会全体でその課題に取り組む必要があります。

その為にも、保育の現場での考え方も柔軟に対応していかなければなりません。

産休・育休等の子育て支援が拡充する中で、「子どもにとって」「子どもの目線にたって」環境を構成し支援していくことが求められています。

「この保育園に通わせたい、通って良かったと思っていただける園にしていきたい。」という思いを全職員で共有していくことがとても大切です。

毎年、園の自己評価を行いフィードバックすることは「保育の質の向上」に繋がります。

これからも、保護者の方と信頼関係を深め家庭と園で連携を密に取り合い、子ども達の成長を一緒に見守っていけるような、園作りを行っていききたい。